

WORKS

ISSUE

70

1997
SUMMER



鶴舞公園の花菖蒲

高齢社会の中で将来を考える

社会福祉法人 名東福祉会

理事長 加藤 奈々枝

〔新しい養護老人ホーム〕

縁あって、改築オープン前の養護老人ホーム尾張荘を見学させて頂きました。名古屋市の北東部、みどりゆたかな丘陵地にあり、すぐ近くには住宅も商店街もあって、比較的交通の便も良いところです。

昭和30年に設立したのですが、老朽化したので、ゴールドプランによる実践の一つとして平成八年十二月、全面改築されました。定員は百八十名です。特徴として、

- 1 全面個室化
- 2 入浴は24時間自由
- 3 食堂では、常にあたたかい家庭的な料理を食べれるように様々な工夫がある
- 4 段差やてすりに気配りをし、床暖房である
- 5 夫婦で利用することもでき、その部屋はキッチンとトイレがついている
- 6 健康と余暇活動に配慮し工夫がある
- 7 グレードの高いデザインを感じる（知的障害者の入所施設と格段の差の建設単価ですから当然ですが）

また、平成九年度中には、敷地内に三十名定員のケアハウスが併設されます。こちらは全員有料ですが、年収百五十万以下の人のみ入ることが出来ます。どちらも、本人の年収によって費用の金額が異なり、無料の人から最高は、十

五〜六万と聞きました。

すべてに施設つばくならないよう、アットホーム的な感じにまとめ、各棟ごとに色彩を変えてあります。入所している方々にお会いしてないので何とも言えませんが、ハードの面だけ見ると、とてもすてきな老人ホームだと感じました。

老人ホームには、いろいろありどんな方が入居できるか、福祉のしおりから参考のため例記してみます。

・養護老人ホームは（市内六ヶ所）

六十五才以上で身体上もしくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な方が入所し養護を受ける

・特別養護老人ホームは（市内二十一ヶ所）

六十五才以上で、身体上もしくは精神上著しい障害があるために、常時の介護を必要とし、かつ居宅においてこれを受けることが困難な方が入所し、養護を受ける

とあります。平たく言うと、特別養護老人ホームは寝たきり老人や痴呆老人が主で（中にはそうでない人もいますが）養護老人ホームは、特老よりやや軽い方が入所しているのだと私なりに受けとめました。

今後、特老はまだまだ建ってゆくけれど、養



護老人ホームは、市内には建つてゆかないであろうとのことでした。ちなみに尾張荘の申し込み待機者は二百人もあると伺い、驚いてしまいました。

特老・養護のほかに高齢者福祉として、次の施設があります。

・軽費老人ホーム（市内四ヶ所）

一定収入以下の六十五才以上の方で、日常生活を、自力で営むことのできる方が入所し、食事その他日常生活上必要なサービスを受ける

・老人保健施設（市内十一ヶ所）

寝たきりなどの状態にある高齢者に対し、看護・医学的管理の下における介護及び機能訓練等を行うとともに、その生活上のケアを行う。（三ヶ月位が限度で出なくてはならない）

このほか、デイサービス施設・老人福祉センター・高齢者介護センター・老人憩の家等があります。

〔安心で快適な老後を目指して〕

次に、機会があつて民間事業によるシニアホーム（高齢者のための介護施設）サンフォーレ鎌倉とサンフォーレ鶴沼を見学してまいりました。

措置費で運営している福祉施設に対向し、ベ

ンチャービジネスとして、地域社会のコミニティでケアを展開、すでに五年を経過しています。昨年暮、二番目のホームをオープンし、近々また三番目のホームを、（キリスト教を信じている方のみホームとして）開設すること。経営者堀井氏から、ありのままをくわしくお聞きして、少なからず考えこんでしまいました。

某福祉グループと、厚生省高官によるあの事件とあまりにも対照的で、民間事業家の止むに止まれぬ挑戦のような気がしました。そして「心をこめて手あつく介護する」という経営者の信条が、ひしひしと伝わって来ました。

堀井氏の話の内容を要約すると、
①拠点としての活動

サンフォーレは、自分達の老後を安心して快適に暮らすことを目標として、小規模ホームを展開し、それをコアとして周囲在宅サービスを提供する

*自分の生まれた土地で安心して、自分の家へ行ったり、またホームへ帰ったりできる
*寝たきり老人、痴呆老人、ひとり暮らし老人
全て可

*ひとりひとりの心の介護を中心にする
*利用しやすい価格（月十五万円～十六万円）
*地域の在宅老人に弁当サービスをする
*職員は、地域の六十才以上の人の働く場として位置づける。資格は問わない。登録制



(現在 二百人位登録されている) 条件は、やる気のある人、心の優しい人

② 社会的意義

高齢者の介護は、国が担当する事業と思いきんでいる国民が多いが、民活こそ将来の高齢社会を明るくする

③ 21世紀の福祉

国は救済に徹し、民間が活動しやすいように、法整備をする必要がある

競争の原理から国民は質の高いサービスを
得ることができる。

税金や保険負担も抑えることができる

以上が堀井氏の話の簡単なまとめですが、老人介護をここまで推めておられるのには、驚きました。風光明媚な、稲村ヶ崎のそばにあるのがサンフォール鎌倉、藤沢市内の静かな住宅地にあるのがサンフォール鶴沼、いずれも、小さなアパートを改造して、十六人のこじんまりとしたホームです。今後はもっと小さく、老人きためのグループホームも考えているとのこと。堀井氏の積極性と堅実性、並びに経営者としての姿勢を学ぶことができました。

〔我々の目指すもの〕

今まで、高齢になった知的障害の方で、養護老人ホームや、特別養護老人ホームでお世話になった事例はいくつかあります。そしてやはり

本当は、特別養護老人ホームの中で過ごすよりも、知的障害者の施設のそばにある高齢者棟で、仲間達と共に過ごす方が望ましいと、色々なところで聞いております。そして、各地には知的障害者の高齢者棟が建ちつつあるのも事実です。

これから新しく知的障害者の入所施設を建ててゆくとき、ライフサイクルの中で、どこにポイントを置いて設置するか、大きな課題だと思います。

知的障害者の高齢者の将来について考える時、我々は、親子の問題としてとらえます。言わず語らずのうちに、親は、その子を見送ってから死にたいと思っているのが本音だと思えます。けれども現実にはそんなわけにもゆかず、自分の将来と、我が子の不安が常にあるのです。親が動けなくなったとき、いくつかの選択肢があります。その選択肢のひとつとして、入所施設建設を推めてゆきたいと思っております。新しい老人ホームのことなどご紹介しながら、考える参考にして頂けたら幸いです。

後援会申し込み ありがとうございました。

先日、本年度の後援会総会を開催し、ひき続き、今後の活動を進めて行きたいと思っております。
よろしくお願ひします。

日時 平成9年6月19日 10時より
会場 名古屋市障害者スポーツセンター

名東福祉会後援会会員名

鈴木昇 塩見勝 相羽美久 鈴木勝人 平川諭 鈴木正徳 山口慶 二村鶴二 高山子 野寺艶子 高橋元彦 待鳥照雄 高橋元彦 待鳥照雄 内貴稔 伊藤時義 西村宏一 宇佐美ゆみ子 細野明子 恵土富雄 渡辺和夫 大角堯之 安藤淳造 片野久男 小野雄雄 加藤公英 小野博 後藤康夫

後藤あきの 杉本四三男 鈴木光男 芹澤誠一 中野照夫 中野良和 奈良俊恭 日高勉 廣田恒之 三鍋満代 森下末市 山森浩司 吉田金一郎 渡辺健二 今津俊典 有賀紀十 今賀紀十 梅田喜作 大内伸元 大原功 川口功 北川史郎 鈴木枝美子 大木枝子 大坂公行 高坂義明 田中義人 中井昌誉 後藤明 福本進 福井広 藤本孝司 藤木日出男 松原文穂 水谷厚 水島文穂 麦島厚 吉田征一 登坂美穂子 岡田忠一 岩崎貴彦 瓜生廣司 大西修義 鴨山下修 来山宗市 佐知輝敏 水鳥信夫 渡邊誠夫 渡辺誠道 尾崎三男 尾崎三男 牧野富二 大須賀浅夫 熊谷哲弥 熊谷哲弥 近藤圭吾 堀藤圭吾 加藤茂二 酒井清夫 林輝夫

伊藤正義 末吉滋 井口和義 永嶋智子 木谷厚雄 ベインズ伸子 長縄節彦 渡邊善介 加藤康彦 佐野安男 平野栄子 後藤幸子 太田和子 沢田喜久子 小嶋勝正 ブルネエズ(株) 関荒夫 ちくさ日曜学校 千葉凱三 匿名一名 筒井タカヤ 福富ヒデ 川和彦

(順不同・敬称略)

振込先

名古屋8 9556

社会福祉法人 名東福祉会

メイトウ・ワークス

(通常払込料金)
(加入者負担)



第10回 藤まつり

実行委員長

大野 安彦

例年より一週間あまりも早く散りそんめてしまった桜、その後を追うようにワークスの藤も咲きいそぎましたが、なんとか当日まで咲き続けてくれて、やれやれといったところでした。

◆藤まつりも今年でちょうど10回目。節目を迎えました。そこで、というわけでもないのですが、少しばかり新しい試みを取り入れてみました。

その一つは、一般店舗からの出店をお願いしたことです。インド料理店の「サプナ」さんと、ご近所の「問屋スーパーSNT」さん、それから「日産プリンス名古屋」さんが出店してくださいました。

太白ワークスや名東福祉会には関係のない一般の店舗・企業が、ボランティアではなく「儲けるために」藤まつりに来るというのは、これまでになかったと思います。

外からの店舗が増えたぶんだけ模擬店を減らしましたから、ワークス側の利益は多少減りました。あくまで収益を第一に考えるのなら、これは不要な試みだったのかもしれないですが、「こんなまつりもある」という一つの方向性を、くみとっていただけたでしょうか。

◆二つめには、メイトウ・ワークス、はまなす、太白ワークスの製品を同じ場所に並べて販売したことです。



協賛出店のインド料理店「サプナ」さん

私たちが売る側からではなく、お客として買う側の視点から見れば「どの施設が」売っているのかよりも、「なにを」売っているのかが大事なんじゃないか。

だから陶器は陶器、クッキーはクッキー、という形にすっきり整理した売場を作りたかったのです。

本当は家族会の販売場所も、「各家族会別」ではなく「製品種類別」にブースを区画したかったくらいです。(ホントにできるかどうかを想像すると?コワイですけど・・・)。

◆ここ数年、藤まつりは回を重ねることにボラ

好評、クッキー教室



ボランティアの参加が増えました。今年は百名に迫る数となり、その大多数が模擬店や販売ブースに入って下さいました。いまや藤まつりは、ボランティアの手で運営されているといってもいいくらいです。

かつてはお母さん方ががんばり、家族会の力で支えられてきた「施設のまつり」が、これからはボランティアのまつり、地域のまつりへと変貌してゆく過渡なのかもしれません。

一方で祭りの面白さという視点で見ると、今の藤まつりは残念ながら、天白ワークスの利用者が十分に楽しめる内容にはなってませんよね。

また、祭りの後のゴミ処理事情は年々厳しくなる一方で、以前のように野放図に寄贈品を集めるわけにはいなくなってきました。かといって「売れそうにない」モノだけお断りすることもできませんし、頭の痛いところです。

ともかく、いろんな意味で藤まつりは、転換点にきているようです。その転換のヒントとなるべき試みに、今年の藤まつりはわずかながら手を着けることができたと思っています。

当日ご来場下さいましたすべての皆様、ありがとうございました。



ボランティアグループ「くらし友の会」のみなさん

第10回 藤まつり
総売上 ¥1,266,371円

ご寄付ありがとうございます
ございました
(順不同)

杉山 晴子 様
 広瀬 良子 様
 有賀 紀十 様
 水野 俊次 様
 北原 政子 様
 富田 勝 様
 武内 義哲 様
 川村 きの 様
 大門 公行 様
 佐藤 兼夫 様
 同朋大学 様
 社会福祉法人 観寿々会 様
 名古屋友の会藤ヶ丘方面 様
 天白区手をつなぐ親の会 様
 はまなす家族会 様
 名東福祉会合同家族会 様
 名古屋パイロットクラブ 様

心から感謝申し上げます



平成9年 名東福祉会事務局報告

4月
 18(金) 入所施設準備委員会
 25(金) 第1回 新人職員研修会
 29(祝) 藤まつり
 5月
 19(月) 第2回 新人職員研修会
 講師 高濱 潔氏
 20(火) なみだのおほしさま出版記念会
 6月
 19(木) 名東福祉会後援会総会
 7月
 24(木) 第3回 新人職員研修会
 講師 中山 清司氏

編集後記

今号の表紙を飾った花菖蒲ですが、現在二千余種にも及ぶと言われ、江戸系は群植美を、肥後系は大輪の鑑賞美を、伊勢系は優雅な繊細美を楽しむのだそうです。御存じでしたか？

ところで日に日に暑くなるこの頃、もうぐったりしますね。

それに世間を騒がせた神戸の事件。毎日報道される中、気が滅入ります。

しかし、また夏は始まったばかり。夏ばてせぬよう気持ちを切替え、スカッとさわやかにいきましょう。
(清)

社会福祉法人
名東福祉会

〒465 名古屋市名東区勢子坊2-1303

メイトウ・ワークス

〒465 名古屋市名東区勢子坊2-1303
TEL 052(702)2863 FAX 052(701)2079

天白ワークス

〒468 名古屋市天白区御前場町327
TEL 052(804)5487 FAX 052(804)5416

ディケア はまなす

〒465 名古屋市名東区高針台1-911
TEL 052(704)7551 FAX 052(704)7552

ぐるーぷ ゆめや

〒465 名古屋市名東区文教台1-1322
TEL 052(774)6100 FAX 052(774)6100

WORKS

ISSUE70 1997.

SUMMER

1997年7月25日発行